

Versal Adaptive SoC:デザインメソドロジー

Part2

概要

AMD Versal Adaptive SoCデバイスをターゲットとした設計開発における、さまざまな設計手法とテクニックを習得します。また、アプリケーションのマッピングとパーティショニング、設計収束、電力、および熱ソリューションを適用して設計のパフォーマンスを向上させる方法も学習します。このコースの重点は以下のとおりです。

- Versalデバイス向け組み込みソフトウェア開発フローのデモンストレーション
- AIエンジン開発フローのデモンストレーション
- 提供されている設計ツールとVersalアダプティブSoC設計手法を用いた複雑なシステムの構築
- Power Design Manager (PDM)ツールを用いた電力見積もり
- VersalアダプティブSoCの電力および熱ソリューションの特定
- Versalデバイス向けトップレベルRTLフローの有効化
- 一般的なタイミング収束テクニックの適用
- デバイスのコンフィギュレーションとデバッグの実行
- VersalアダプティブSoCシステムのパフォーマンス向上
- システムレベルシミュレーションの実行

本コースは全部で3日間ですが、Part1(2日:Day1&Day2)とPart2(Day3)の2つに分けて提供します。また新しいバージョンでお届けするためオリジナル英語版テキストを使用します。

本説明はPart2(Day3)です。取り消し線の項目(Day1&2)はPart1でカバーします。

テキストより

